

## 編集後記

第一九九号をお届けいたします。編集の不手際により発行が遅れましたこと、まずは会員皆様にお詫び申し上げます。

さて、本号には三本の論説を掲載いたしました。特に、豊田会長と入江氏の論説はこれまでの大分県の近世史研究において、あまり正面から取り扱われてこなかったテーマについて論じています。詳細については御味読いただくとして、興味深いのは二本の論説がともに竹田藩主中川家に関わる諸史料を主に利用している所です。不勉強な私は、中川家史料は質量ともに豊かであると仄聞するに留まっておりましたが、本号の論説に紹介されている記事などをみると、改めて内容の豊かさを知りました。量の方は体感できておりませんが、関係者の方々の御苦労が察せられます。

なお、残念ながら、入江氏の論説は都合により本号と次号の連載となりました。次号では「府内目付」の任務そして幕藩体制下での位置付けなどが論じられます。どうぞ御期待下さい。

(櫻井成昭)

平成十九(二〇〇七)年三月 九日 印刷  
平成十九(二〇〇七)年三月 一日 発行

## 大分県地方史 第一九九号

編集者 櫻井成昭

発行者 豊田寛三

印刷者 廣永晴巳

印刷所 有限会社舞鶴孔版

〒八七〇一〇〇二一

大分市大手町二丁目三一四

(☎〇九七―五三一四―三三二)

発行所

〒八七〇一―二二四

大分市巨ノ原七〇〇

大分大学教育福祉科学部国史研究室内

大分県地方史研究会

(振替・〇一五八〇―二一五二九四)

事務局 大分県立先哲史料館

〒八七〇一〇八一四

大分市大字駄原五八七―一

(☎〇九七―五四六―九三八〇)